

うず

ゴールデンウィークも無事終わってしまっただ。今年の連休は3連休。あいだ3日あけて4連休。間の3日を休めば(あるいはメーデーが休みの人は2日だけ休みを取れば)10連休とかなり長い休みが取れた。

夏休みで土日をはさんで1週間休んでも9連休にしかないから、これはかなりしっかりした休みだ。

ゆとり教育を文部

科学省が声高に言い募っており、学校に行って机にしがみついているより、いろいろな体験をするほうが良いとお墨付きた。

成田から海外旅行に行く人出も大変な賑わいだっただ。9・11で海外旅行が安くなったのも影響しているかもしれない。

ゴールデンウィーク

阪神の快進撃(怪進撃?)以来明るいニュースがこれといってなく、暗いニュースばかり聞かされる日本にいるより、思い切って海外旅行をする方が精神的にも良いかもしれない。いずれしてもこれは日本が、日本人が豊かになったことを示しているに違いない。

政治が機能しなくなったとか、銀行が

信頼できないとかいろいろ問題はあだが、この日本人の豊かさにはあまり関係はなさそうだ。

仮に10人に1人が失業していたとしても、そして残る9人も、いつその1人の側に移ってしまうか分からないとしても、とりあえずその9人は豊かだ。そし

て同時にいつ1人の側に行くかもしれないと不安を抱えている。

保険は不確実性を和らげる機能を持つが、それを購入するには金がかかる。保険料を払う余裕のない人には保険は売れない。

今の日本人のように十分豊かで、同時に不確実な将来に不安を抱えている人たちが、まさに保険の対象として絶好のターゲットだ。その豊かさのほんの一部を不安の解消に用立ててもらえば、はるかに安心して残りの豊さを満喫できる。

このように考えると、今は保険のセールスには最も適した時代なのかもしれない。

(桑太郎)